

北条政子の“一生一代の名演説”

皆さん、心を一にしてお聞きなさい。これが私からの最後の言葉です。

今は亡き頼朝公が朝敵（平家）を滅ぼし、関東に武家政権を築いてから、あなた方の官位は上がり、禄高もずいぶん増えましたね。

その恩は、山よりも高く、海より深いものです。

その恩に感謝の気持ちで報いようという志は浅くはないでしょう。

しかるに今回、逆臣の讒言（ざんげん）によって、道義に反した綸旨（りんじ・天子の命令）が下されました。

名を惜しむ者は、早く逆臣（藤原）秀康、胤義（たねよし）ら（後鳥羽院方の首謀者）を討ち取り、三代将軍の眠るこの鎌倉を守りなさい。

ただし、朝廷側に付こうという者があれば、ただ今はっきりと申し出なさい。

板野博行著：眠れないほどおもしろい吾妻鏡より

大勢集まっていた武士たちは、ことごとく涙し、言葉にならない。

命を懸けて恩に報いん、と心の中で誓うばかりでした。

政子のこの演説の効果は抜群で、「いざ鎌倉！」とばかりに集まった御家人たちの数は19万！

大軍を以って攻め上がり、あっという間に京都を制圧しました。